

特集 私の体験した3回の振り込め詐欺

忘れもしない、平成17年8月4日。午前10時頃にいつもより遅い洗濯を始めたところ、間もなく電話！

「もしもし、〇〇さんのお宅でしょうか。私は息子さんの勤務している学校の教頭です。じつは今朝、高校3年生の娘さんとそのお父様が、『娘が〇〇先生に辱めを受けた、どうしてくれるか！』と巡査を伴っておいでになりました。いま息子さんは警察に行っています。私は校長と話し合い、とりあえず300万円ほどで示談に持っていきしかねないという結論に達しました。早速工面してください。校長・教頭の監督不行き届きの責任もありますので、マスコミ方面の口止め料200万円はこちらでなんとかします。息子さんが警察に行ったあと、カバンを見たら怪しげなスナックが多量に出てきました。間もなく帰ってくるので、すぐに銀行へ行きお金を用意して、用意できたら銀行の外の公衆電話より××番へ電話し、こちらの指示通り動いて欲しい。わかりましたか！」と。

「私が直接お金を持参し学校へ行きます。そして陳謝します。」と言うと、「それは駄目だ」との返答。「どうしてですか」と訊くと、「マスコミに取り巻かれ大騒ぎになる！」

そこで夏休みで朝寝坊していた孫の次男が騒ぎを聞きつけ、「振り込め詐欺じゃない？学校に叔父さんがいるかどうか問い合わせしてみたら」と。

孫が卒業生だったので学校へ電話で問い合わせると、息子は補習授業で在校中とのこと。ほっとして10分程たったところで、件の人から電話。「お金はどうした！」「驚いて腰が抜け、動けなくなってしまったので他人

に行ってもらっている」「他人って誰だ！」「もうすぐ帰ってくると思う」「じゃあいい！」

我が家のそばで私の出るのを待ち伏せているのかもしれないと思った。2度目の振り込め詐欺との遭遇は、翌年7月5日。これはすぐ電話を切った。

3度目は、今年の3月。これは以下のようなやりとりだった。「荏原警察〇〇です。銀行のカードをお持ちでしょうか。無くなっていますか。この地区の係の者なのですが、落とし物として1000枚ほど持っているので確認の問い合わせです。カードがあるか見て下さい」「お待ちください……私は異常ありません」「お持ちのカード番号を教えてください」「私が警察へ伺いますので、お名前を教えてください」「〇〇です」「判りました」こうして電話を切った。

即座に荏原警察へ電話すると、やはり先ほどの電話は振り込め詐欺だったようで、その係の警察官が来宅。「無事でよかったですね」と言いながら、私の話した顛末を録音して帰られた。「あなたが本物の警察官なのかかわからないくらいです」と申しますと、苦笑しながら「そうですね」と。

先日の発表でも、振り込め詐欺の被害はますます増えるとか。留守番をしている老女が狙い目。便利な電話が恐ろしい道具になる。

現在は銀行の1回で振り込める額が小額になったけれど、私の1回目のころはまだだった。ベルが鳴れば、出ないわけにもいかないし。 編集委員

あれコレナ～ニ？

ブロック塀の中に生息する不思議な植物、それは名前のないブドウの木でした。

6年前に遡ります。土を入れた直径50cm、高さ60cmのビニールのバケツに植の木を育てていました。そこに突然小さな植物が誕生しました。あまり関心が無く見捨てられて2年、何とそれはぶどう科の植物でした。どうしてこんなところに、どうも鳥が種を運んできたものと判断いたしました。

それからどうでしょう植の木に負けないように年々成長して昨年5年目で実をつけるまでになりました。黄金虫に葉を食べられ食べられしながら熟した実は近所の子供さん、保育園の園児さんに届けて、喜んでもらいました。

今年は、驚くことに黄金虫、蝶の幼虫にも負けずにたわわに実を付けています。熟したところで、近所の子供さんに提供して喜んでもらうことを楽しみに丹精しています。

西中延3丁目 中西 義治



新シリーズ 町会部会紹介

中延4丁目町会婦人環境部について

目標は「愛着を感じる、中延4丁目」

愛着のある住み良い、きれいな中延4丁目を目指して、周囲に迷惑を掛けないルールを守ったゴミの出し方を、道路や公共の場所を汚さない使用の仕方を心掛ける気持ちを大切にしています。

住み心地の良い町作りの第一歩は、日頃からの円満なご近所付き合いから、地域に関心を持ち気軽に行事などに参加しやすい環境だと思います。これは家庭を預かる女性の協力と理解が必要と考えます。

その一環として、婦人環境部は、手芸サークルを企画して行い、又第四地区夏まつりの折の盆踊りに参加するために、毎年7月に楽しく練習をして親睦を深めています。今後清掃工場や防災センターなどの見学を予定しています。

このような活動から、安心・安全な町会作り的一端を担えればと願っております。

婦人環境部 小田橋 照子



※写真は盆踊りの様子です。

シリーズえばよんの緑 ぶどう…ぶどう科 中延5丁目

ワインというと西洋のイメージがあります。

ですから、ワイン原料のブドウというと西洋的な感覚なのですが、日本にも代表的な品種があります。その一つに、“巨峰”があります。

この巨峰が実る場所が地域内にもあるのです。荏原町本通り交差点近く中延5丁目の新井さん宅です。今年の春に引越しの準備に来られたときに枯れた様な蔓があったので何も手を加えずにいた処、緑の葉が繁り出し、夏頃に花が咲き、その後実までつけたので、慌てて近くの方々のお知恵をお借りして袋を被せたとのことでした。

その時に、以前住んでおられた池田さんというおじいさんが育てられていたお話やブドウの種類が巨峰だというお話なども伺ったそうです。

前住者の方の思わぬ置き土産のお陰で、近くの方々とのコミュニケーションも出来、果実まで収穫出来たということで、前住者の方には感謝をしているとおっしゃっておられましたことが、とても印象的でした。

今回偶然地域の方からの投稿と内容が一致しました。

編集委員



※袋を被せたブドウの写真です。

